



令和7年度 東京都北区立王子桜中学校

令和7年10月 第7号

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子2-7-1

Tel 03-5902-3155

王子桜だより

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 自主 創造 飛翔

《祝 2年生 宝利さんバスケボール優秀選手賞 おめでとうございます！》

男子バスケボール部2年生の宝利さんが8月10日に王子桜中体育館で行われた第1回チャレンジカップにおいて優秀選手賞を授与されました。本当におめでとうございます。これからも頑張ってください。



《祝 ソフトテニス女子個人戦 優勝・第3位 おめでとうございます！》

8月25日(月)北区中学校ソフトテニス夏季シード権大会個人戦でソフトテニス部女子の屋宮さん・堀内さんペアが優勝！

中山さん・瀧澤さんペアが3位と見事な成績をあげました。本当におめでとうございます。



《祝 ソフトテニス女子団体 準優勝おめでとうございます！》

8月27日(水)北区中学校ソフトテニス夏季シード権大会団体戦が開催されました。ソフトテニス部女子は順調に勝ち上がり、見事に準優勝に輝きました。



《祝 女子バレー部 夏季研修大会第5位 おめでとうございます！》

8月26日(火)27日(水)女子バレーボール北区夏季研修大会が行われました。

王子桜中女子バレー部は、26日(火)に赤羽岩淵中体育館で予選リーグが行われ、全勝、1位で通過し、翌日27日(水)に桐ヶ丘中体育館で行われた決勝トーナメントに進出し、第5位に入りました。本当におめでとうございます。女子バレー部のみなさんは朝練も一生懸命おこなっていて素晴らしいです。正に「継続は力なり」です。



《祝 男子バレー部 夏季研修大会で見事 優勝 おめでとうございます！》

8月30日(土)男子バレーボール夏季研修大会が赤羽岩淵中体育館で開催されました。王子桜中バレー部男子は、5校リーグの試合で、見事、全勝して優勝を果たしました。本当におめでとうございます。

どの部活動も1・2年生を中心に、夏休みの練習の成果がいろんな場面で現れていて素晴らしいことです。

また次の大会に向けて頑張ってください。

今回、各部の研修大会には応援に行けませんでした。秋の大会を楽しみにしています。皆さん、頑張ってください。



《2年生 EC で、那須高原学園しらかば荘に行ってきました。》

2年生は、9月11日（木）～13日（土）の2泊3日で、栃木県那須高原学園のEC（イングリッシュ・キャンプ）に行ってきました。3日間とも、あいにくのお天気で2日目のハイキングには行けませんでした。Group flag づくり等様々なアクティビティをスタッフが用意してくださり、質の高い学習ができました。

グループごとのチャレンジラリーは、「しらかば荘」の敷地をフル活用して行われました。英語を話しながら、頭も身体もフル回転！とっても楽しくて、達成感もあり、敷地内の至るところから歓声があがっていました。

夜はキャンプファイアーのはずでしたが、雨天のため、室内食堂でキャンドルサービスを行いました。キャンドルサービスの厳粛な儀式の後には、ダンスで最高に盛り上がりました。その後、雨が止んだ園庭で、NOTS スタッフのタカ&ラムによるファイアーショーが行われました。難易度の高い驚きの演技に圧巻！拍手と声援が鳴り止みませんでした。

雨でも、生徒のみなさんのテンションが下がらないように、様々な工夫をしてくれたスタッフのみなさんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。またスタッフの思いに応えようと一致団結して最高の盛り上がりを見せてくれた2年生は、本当に明るく素直で、マナーも良く、思いやりのある素晴らしい生徒だと改めて感じました。

最終日、ICP Show Time では、それぞれのグループで初日から練習してきた留学生の国の文化を象徴したダンス等を発表してくれました。どの班も実に素晴らしいパフォーマンスでした。退園の際には、スタッフのみなさんが、アーチをつくり雨に濡れながらも王桜生の乗ったバスのお見送りをしてくださいました。

夕方、学校に到着後、校庭で留学生とのお別れを惜しみました。たった3日間の出会いでしたが、留学生も生徒もお別れが辛くて涙をしている様子に我々教員も感動しました。

このEC那須の経験は、英語でのコミュニケーション能力を高めただけでなく、目の色、肌の色、言語、習慣が違って、ともに分かり合えること、思いやりや優しい心に国境なんてないことを強く感じた貴重な体験となりました。次世代の国際社会を生きる子どもたちが、国境なき平和や幸福を追求すべく国際理解教育を引き続き推進してまいります。



《祝 連体 女子総合3位 男子総合8位 男女総合5位 おめでとうございます！》

9月26日（金）に第61回北区連合体育大会が足立区の舎人公園陸上競技場で行われました。

総勢44名のみなさんが各競技に参加して、男女ともに数多くの入賞を果たして、女子総合3位、男子総合8位、男女総合5位に入賞しました。本当におめでとうございます。

こんなに素晴らしい成績を収められたのも、まずは、生徒のみなさんが夏休み後半から始まった練習に真剣に取り組み、限りある放課後の練習の中で、自分の課題を見つけ、ベストが出せるよう試行錯誤を繰り返した結果だと思います。それと、みなさんの練習の時には、体育科の先生を中心にたくさんの先生方がついてくださり、アドバイスや励ましの言葉をたくさんいただきました。大会の朝も、連体に出場するみなさんの乗るバスに、あんなに大勢の先生方がお見送りをしてくださいました。

生徒のみなさんの努力と先生方や保護者の方の温かい応援があって、このような良い成績が収められたのだと思います。生徒のみなさんにも素敵な思い出がまた一つ増えた一日となったことでしょう。また、大会中の応援も、「王桜がんばれー！」「王桜がんばれー！」という大きな声が至る所から聞こえて来て、自分の競技以外にも仲間を応援する心の温かさ、爽やかな姿がとっても素敵でした。遠方まで応援に来てくださいました保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

【連合体育大会入賞を果たしたみなさん】

【女子】

大竹さん	3年	3年砲丸投	4位
新美さん	3年	3年走高跳	6位
嶋方さん	3年	3年走幅跳	4位
梅村さん	2年	100m	2位
松山さん	2年	共通 1500m	7位
許さん	2年	共通 1500m	3位
山崎さん	2年	2年 100mH	1位

堀内さん	2年	2年 100mH	8位
黒岩さん	2年	1、2年砲丸投	4位
中山さん	2年	1、2年 800m	5位
八戸さん	2年	1、2年走幅跳	4位
堀江さん	1年	1、2年走幅跳	3位
金田さん	1年	共通女子 200m	7位

2年女子 4×100m リレー 3位 (梅村さん・瀧澤さん・松山さん・山崎さん)

共通女子 4×100m リレー 6位 (新美さん・嶋方さん・原田さん・堀江さん)

1年女子 4×100m リレー 7位 (堀江さん・金田さん・武内さん・上村さん)

【男子】

宮本さん	3年	100m	7位
桔梗さん	3年	走幅跳	3位
卜部さん	2年	共通 400m	4位
丸山さん	3年	3年 110mJH	4位
高橋さん	3年	共通 800m	7位
鈴木さん	3年	共通 800m	8位
能代さん	3年	走高跳	8位

三田村さん	3年	共通砲丸投	8位
新垣さん	2年	2年 1500m	2位
梅原さん	2年	2年 100m	7位
小島さん	2年	1.2年走幅跳	6位
宝利さん	2年	1.2年走幅跳	4位
岡さん	2年	1.2年砲丸投	8位
白石さん	1年	1年 100m	7位

2年男子 4×100m リレー 5位 (新垣さん・梅原さん・小島さん・宝利さん)



【株式会社コーセーの躍進】

「正しきことに従う心」は、創業者である故 小林孝三郎氏の座右の銘であるとともに経営の哲学です。孝三郎氏は、「正しきことに従うためには勇気がいります。忍耐がいります。知恵と努力が必要です。柔軟な心と素直さが必要です。」と説明し、自分自身に対しても「今でも一步でも近づきたいと自分の心に言い聞かせている毎日であります」と話していたそうです。

1946 年の創業以来、この言葉を企業精神の根幹に据え、二代目社長 長男・禮次郎氏、三代目社長 三男・保清氏、四代目社長 孫・一俊氏へと引き継がれてきました。現在、この言葉はコーセーグループの行動憲章と定められています。法令・社会規範を遵守するとともに、コーセーグループに関わる全ての人々の人権を尊重し、お客さまをはじめ広く社会から支持される、誠実で誠意のある企業であり続けることを目指して事業を展開しています。そして、「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する。」という存在理念のもと、化粧品を通じて人々に自信と勇気、そして心の豊かさを提供すべく活動しています。主要ブランドは「コスメデコルテ」「雪肌精」「アディクション」「ONE BY KOSÉ」「ジルスチュアート」などがあります。



四代目社長小林一俊 氏
【株式会社コーセー】

《CM に大谷翔平選手を起用》

大谷翔平選手は、コーセーとグローバル契約を結んでおり、「コスメデコルテ」のアンバサダーを務めています。2022 年からの契約で、「雪肌精」の日やけ止めや「コスメデコルテ」の美容液、「リポソーム アドバンスト リペアセラム」の広告に起用され、大きな反響を呼んでいます。

コーセーの三代目目で四代目社長の小林一俊氏は、大谷翔平選手を起用した「コスメデコルテ」の売上高が、起用前と比較して大幅に増加し、男性の化粧習慣化も進んだと説明しています。

大谷選手がCMで見せる「デコルテポーズ」は、SNSを中心に話題となり、店舗やECの訪問者数増加にも貢献しました。

この美容液のCMに大谷翔平選手を起用したことで、売り上げが一気に約4倍になったというニュースは世間をざわつかせました。男女問わずこの商品を買いたい求める人が殺到した背景には、大谷選手の人気はもちろん、近年の「価値観の多様化」、そして「DE&I (Diversity/多様性・Equity/公平性・Inclusion/包摂性)」を大切にしようとする社会変容があります。

起用した前後では、コロナ禍で外出を控える人が多かったこともあり、2020年の化粧品の推計市場規模は前年比89%と縮小するものの、男性の化粧品市場規模は前年比104%と拡大しました。男女共用の商品はもちろん、女性用化粧品を購入する男性も多くみられました。この背景には、コロナ禍でオンラインコミュニケーションが増加したことなどが影響しているようです。オンライン授業や会議などで自身の顔を見る機会が増えたことで、男性もシワやシミ、ニキビなどが気になりはじめ、化粧品を使用する習慣が一気に高まったそうです。また、当時、メイクをした韓国男性アイドルグループが人気を博したことも後押ししました。

まさにそのタイミングの2023年3月、コーセーがロサンゼルス・エンゼルス所属(現・ロサンゼルス・ドジャース)の大谷翔平選手を、自社スキンケアブランド「コスメデコルテ」の美容液の広告モデルに起用したところ、情報解禁の翌日には百貨店での新規購入数が通常時の3.6倍に達し、さらに公式オンラインブティック(EC)での販売個数は通常時の約20倍という数字を叩き出したのです。

なお、コーセーにはメンズブランドはないとのこと。たしかに、男性の方が女性より皮脂分泌量が多いなど特長差があるため、業界ではメンズ専用ブランドが多く存在しています。コーセーの考え方は、その差異以上に「個人差」も大きいと捉え、気持ちよく使える官能幅を広く持つことで、男性・女性と分けることなく、LGBTQ+を含む多様な個性を尊重し、ジェンダーレスにブランドを展開しています。



大谷選手 広告モデル
【株式会社コーセー】

《コーセー最新の顧客体験を発信する拠点を原宿「ハラカド」に》

原宿「Maison KOSÉ ハラカド」



コーセーは、2024 年 4 月にオープンした複合商業施設の東急プラザ原宿「ハラカド」に、新しい顧客体験の発信拠点として直営店「Maison KOSÉ ハラカド」をオープンしました。直営店は、この店舗と銀座 2 店舗となります。

「Maison KOSÉ ハラカド」は、特に現代の若年層の消費傾向に合わせた新しい顧客体験を発信する店舗です。ファッションや流行が集まる原宿の中心地・神宮前交差点にある商業施設に位置し、デジタルネイティブと言われる Z 世代をはじめ、美容トレンドに敏感な顧客をコアターゲットに展開しています。

既存の店舗と比較し、ハイプレスステージブランドに特化した商品を取り揃えた店内では、美容や購買にまつわる新たな顧客体験をジェンダーレスで楽しめる様々な“ビューティアトラクション”が用意されています。また、デジタルネイティブ世代の取り込みを狙うため、デジタル技術を駆使しています。さらに、「接客を担うビューティコンサルタント(美容部員)」にとって働きやすい環境が最終的に美容体験や接客を通じた CX(カスタマーエクスペリエンス)向上に直結する」という考えのもとに店舗づくりがされました。様々な文化を生み出してきた原宿で、新しい顧客体験・美容体験を発信しています。9 月 9 日(火)王子桜中 2 年生の生徒が訪問させていただき、「Maison KOSÉ ハラカド」の世界に一つしかない魅力ある空間で様々な体験をさせていただきました。スタッフのみなさんには親切丁寧にご対応いただき本当にありがとうございました。

《雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクト》 ～王子桜中海洋教育に合い通ずる取組～

コーセーは美の創造企業として、美にまつわるあらゆる知恵を出し合い、人々のために、そして大切な地球の未来のために、役立てていく活動を行っています。その一例が、沖縄のサンゴ保全活動などに取り組む、雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクトです。

沖縄には世界的に見ても価値の高いサンゴ礁があると言われていますが、近年、地球温暖化による海面温度上昇や環境汚染などにより、2100 年には地球上のすべてのサンゴ礁が死滅している可能性があるという研究結果も見られます。

薬ビンイメージした美しい瑠璃色が象徴的で、和漢植物という地球の自然の恵みが配合されていた雪肌精。青い地球を守るために、海の生物の約 9 万種が暮らすサンゴ礁を未来に向けて守る事が、自然への恩返しになるという思いで活動をしています。

この活動は、期間中に購入された『雪肌精』ブランド対象商品の容器の底面積分の合計に相当する面積のサンゴ育成活動費用を、有限会社「海の種」(沖縄県読谷村)へ寄附し、沖縄のサンゴ保全に取り組んでいます。

サンゴが増えてくると目に見えて魚が増えていきます。現在、世界中のサンゴ礁の面積は地球表面の 0.1%ほどですが、そこには約 9 万種もの海の生物が暮らしています。サンゴはたとえ死んでしまっても、砂利になって砂浜を形成し、海をきれいにしてくれるバクテリアたちや小動物の住処として、海にとって生態系の源となるのです。

今年で 17 年目となる本年も 7 月 1 日から 8 月 31 日まで展開されました。また、雪肌精「SAVE the BLUE」プロジェクトの一環として、7 月 31 日・8 月 1 日には沖縄県 読谷村と糸満市の小中高生を対象に、「サンゴ留学」と称したサンゴの苗作りやビーチクリーン活動を実施しました。

このプロジェクトは、本校の海洋教育にも合い通ずる取り組みであり、改めて産学連携で深く学ぶことの必要性を感じました。

《コーセー研究所・研修センター》

コーセーは、創業の地であるこの王子に研究所と社員の研修センターがあります。「コトづくり」の本社(日本橋)、「モノづくり」の研究所(王子)、「ヒトづくり」の研修センター(王子)を東京都内に配置し、有機的かつ機動的に連携しています。

特に、研究所は創業当時より王子にあり、コーセーのグローバルなモノづくりの基盤となっています。

製品・原料の開発研究や製品の評価研究、海外を含めた法規制調査や技術情報の管理などを行う「製品開発研究所」と、皮膚・薬剤の基礎研究や製品・原料の品質保証研究、データ分野における基礎・応用研究などを行う「先端技術研究所」の二つがあります。長きにわたり引き継がれてきたコーセーの DNA と呼べる、職人気質や挑戦への思いを伝承、進化させ、モノづくりへのこだわり、外部との連携の強化に取り組んでいます。

《コーセー美容専門学校 KOSE Beauty Academy》

日本を代表する創業 80 年近い老舗化粧品メーカーコーセーグループの『人づくり』教育の原点となっている美容専門学校です。

学校法人コーセー学園コーセー美容専門学校は、コーセー化粧品の創業者小林孝三郎氏自身が初代校長として 1968 年に設立。美の創造企業である



雪肌精 SAVE the BLUE

【株式会社コーセー】



コーセー研修センター

【株式会社コーセー】



コーセー研究所

【株式会社コーセー】

コーセーグループが全面的にバックアップする充実のサポートと、実践的なノウハウを生かし、現場で役立つ即戦力となる人材を育てるため様々な特色あるカリキュラムを導入しています。

2016年4月、「東京ヘアメイク専門学校」から、現在のコーセー美容専門学校へと改名し、新たなスタートを切りました。美容師、ヘアメイク、ブライダル、美容部員、アイデザイナー、ネイリストを育てるカリキュラム。全コースで美容師免許を目指し活躍の場を広げます。また、コーセー、アルビオン、ジルスチュアート、アディクションへの学内推薦制度で、毎年多くの学生が内定を決めています。

全てのコースで美容師免許取得のための充実した国試対策授業が受けられ、高い合格率となっています。

9月9日(火)王子桜中2年生の生徒が王子にあるコーセー美容専門学校を訪問し、沢山の授業を見学させていただき、学生代表のみなさんと懇談をする機会までいただきました。コーセーという世界に名を馳せる名門で研鑽を続け、さまざま資格をとるために日夜一生懸命努力していらっしゃる学生のみなさんはさすがに違うなと感心させられました。同時にコーセー美容専門学校の牛村校長先生を始めスタッフのみなさんが、学生一人一人に親身になって丁寧なご指導をされていて、将来の日本の美容業界を背負う人材育成に全力を注いでいるからだ実感しました。まさに「教育は人なり」であり、地元の誇りだと改めて感じました。

